

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		<b>事務事業名</b> 中小企業特別融資積立金	
区分	番号	名称	
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	
施策	3	活力ある地場産業の育成	
小分類	2	安定した企業活動を支える良好な経営環境の創出	
主要な施策	2	経営基盤の強化	
事務事業番号	002	事務事業コード	31322002
		事業開始年度	昭和 5 6 年度
		事業終了年度	平成 - 年度
会計種別	一般会計		予算書上の事務事業名 中小企業特別融資積立金
部 名	観光経済部	グループ名	商工労政 G
統合前または名称変更前の事業名			

事務事業の目的と成果	
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 中小企業者等が経営基盤の強化や事業の活性化を促進するために必要な資金について、融資の円滑化を図ることにより、市内経済の発展に資することを目的とする。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 金融機関に一定額の資金を預託し、預託先金融機関がこの資金を原資として、市内中小企業者等への融資を低利で行なう。 【資金種別(限度額)】 一般事業資金(運転1,000万円・設備2,000万円)、 団体事業資金(運転2,000万円・設備3,000万円)、 事業所開設資金(運転500万円・設備2,000万円)、小口事業資金(500万円)、 小規模商工業近代化資金(設備2,000万円)、新分野進出支援資金(1,000万円)
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 近年の融資実績 平成 1 8 年度 8 件(運転資金 7 件、設備資金 1 件) 平成 1 9 年度 6 件(運転資金 4 件、設備資金 2 件) 平成 2 0 年度 2 件(運転資金 2 件) 平成 2 1 年度 0 件 平成 2 2 年度 4 件(運転資金 4 件)
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 登別市中小企業振興条例 登別市中小企業特別融資要綱

指標の推移								
	区 分	単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	融資申請件数(当該年度)	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	4				
	融資実施件数(当該年度)	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	4				

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	28,000	66,000	66,000	66,000	66,000	198,000
合 計				28,000	66,000	66,000	66,000	66,000	198,000
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	365	375			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		365	375			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市内中小企業者の円滑な資金調達を支援し、市内経済の振興を図るため、中小企業者を対象に低利の融資を行う制度は妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 近年、新規の融資件数が減少傾向にあったものの、平成22年度より小口事業資金制度を改正したことにより、融資件数が改善された。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 本事業を広報等を活用し、分かりやすい周知に努めるほか、商工会議所や各金融機関等と連携をして、市内中小企業者の経営状況等を把握し、企業等のフォローアップに努める。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 市内中小企業者等の経営基盤の強化を図るための事業であり、不安定な経済情勢や震災の影響が残るなか、予算削減は事業融資枠の減少につながるため。

担当グループによる評価

維 持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	市内中小企業等の経営基盤の強化を図るための事業であり、震災の影響等から依然として不安定な経済情勢が続いているため、市内中小企業者の資金調達を支援する必要があることから事業を継続する必要がある。
-----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維 持	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）